

# あいコープみやぎ 食品安全方針

生活協同組合あいコープみやぎは、「私たちは協同の力で、人・食・環境を大切に作る持続可能な社会をつくりまします」の基本理念のもと、「より自然で安全な食べものを私たちの手で」つくり出す運動に取り組んできました。生産者との信頼関係を大切に、地産地消、食の自給と安全を守る産直運動を推進してきました。

2011年、東日本大震災・福島原発事故に際しては「東北の復興は地産地消の再構築から！」の立場を堅持し、そして2016年、おおぜいの組合員、職員、生産者の参加で策定した「あいコープみやぎ2020年ビジョン」の中で、「商品づくり」ビジョンを次のように掲げました。

## 『組合員の食卓に「なくてはならない」商品を増やします』

- ・作り手との「顔の見える関係」と組合員の声に基づいた、「価値」ある商品開発に取り組みます。
- ・安全・安心、そして美味しく、組合員の食卓に笑顔あふれる商品ラインナップの充実を目指します。
- ・組合員の信頼に応えられる食品安全の確保と、お届け品の鮮度・品質の向上を図ります。

この「商品づくり」ビジョンを基調方針としながら、「食品安全の確保」がビジョン実現の前提であり、すべての土台であることを確認し、以下の食品安全方針を策定します。

1. あいコープみやぎは、フードチェーンの最終の提供者である事を強く自覚し、必要かつ取り得るあらゆる措置を講じて、組合員に提供する食品の安全を確保します。
2. あいコープみやぎは、食品安全を規制する法的要求事項及びその他の要求事項を順守するとともに、組合員が望む食品安全に関する合理的な要求を満たす食品及びサービスを継続的に提供します。
3. あいコープみやぎは、食品の生産者・製造者との信頼関係と緊張関係を同時に保持しながら、食品安全をより確実なものとするための協同互惠の取り組みを推進します。
4. あいコープみやぎは、農産物の分野においても、GAP（生産工程管理）の推進などによって、おいしさ・品質・栄養・環境そして安全安心のレベルアップを追求します。
5. あいコープみやぎは、福島原発事故に起因する放射能の自主測定を計画的に継続し、放射能の測定結果を含めて、組合員が必要とする食品安全にかかわる情報のすべてを積極的に公開します。
6. あいコープみやぎは、組合員から出された食品や活動への意見・評価・苦情などを事業の改善に積極的に活用するとともに、規制当局関係者に対しても積極的なコミュニケーションを行います。
7. あいコープみやぎで働く、すべての役職員・定時職員・嘱託職員そして委託先従業員に食品安全方針を周知徹底し、日々の仕事の現場において食品安全方針とマネジメントシステムを生かします。

以上の実現のために、食品安全マネジメントシステムを確立し、更に適時に検証し、評価し、見直しを行い、継続的に改善します。

制定：2008年5月

改定：2016年8月

理事長： 高橋 千佳